



2018年3月期第3四半期 決算説明会

2018年2月1日

カシオ計算機株式会社

本資料における業績予想及び将来の予想等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従って、実際の業績は、様々な要因により、これらの業績とは異なることがありますことをご承知おき下さい。

2018年3月期 第3四半期連結決算概況

1

単位:億円

連結	'16/3Q 実績	'17/3Q 実績	前年比	'16/1-3Q 実績	'17/1-3Q 実績	前年比
売上高	759	779	103%	2,326	2,315	100%
営業利益	69	71	103%	204	217	107%
利益率	9.1%	9.1%		8.8%	9.4%	
経常利益	65	70	108%	147	207	140%
当期純利益	42	48	114%	106	148	139%
1株利益(円)	16.73	19.66		41.64	60.07	

セグメント別実績 売上・営業利益

2

単位:億円

売上高	連結	'16/3Q 実績	'17/3Q 実績	前年比	'16/1-3Q 実績	'17/1-3Q 実績	前年比
	コンシューマ	652	668	102%	1,982	1,974	100%
システム	86	93	108%	278	283	102%	
その他	21	19	89%	65	57	88%	
合計	759	779	103%	2,326	2,315	100%	

営業利益	コンシューマ	86	90	104%	257	259	101%
	システム	▲8	▲3	-	▲22	2	-
	その他	1	2	112%	3	5	147%
	調整額	▲11	▲17	-	▲34	▲48	-
	合計	69	71	103%	204	217	107%

第3四半期(10~12月)の概況

■売上高、営業利益共に対前年比で増収増益

■時計事業は中国の好調等により増収増益

売上:481億円(対前年+4%増収)、利益率:20%

■教育事業は売上156億円(対前年+8%増収)、利益率:6%

売上構成比:電卓:55%、辞書:15%、楽器:30%

電卓については+6%増収、利益率16%

■デジタルカメラ事業は引き続き市場縮小により

減収(対前年-30%)、赤字10億円

■システム事業はその他システム(除くプロジェクター)は安定的な収益基盤確保

売上構成比:プロジェクター:25% その他システム:75%

2018年3月期決算予測

4

単位：億円

連結	'16/4Q 実績	'16/通期 実績	'17/1-3Q 実績	'17/4Q 計画	前年比	'17/通期 計画	前年比
売上高	886	3,212	2,315	1,185	134%	3,500	109%
営業利益	103	306	217	123	120%	340	111%
利益率	11.6%	9.5%	9.4%	10.4%		9.7%	
経常利益	115	262	207	113	98%	320	122%
当期純利益	78	184	148	77	99%	225	122%
1株利益(円)	31.42	72.67	60.07	31.27		91.34	

セグメント別売上・営業利益

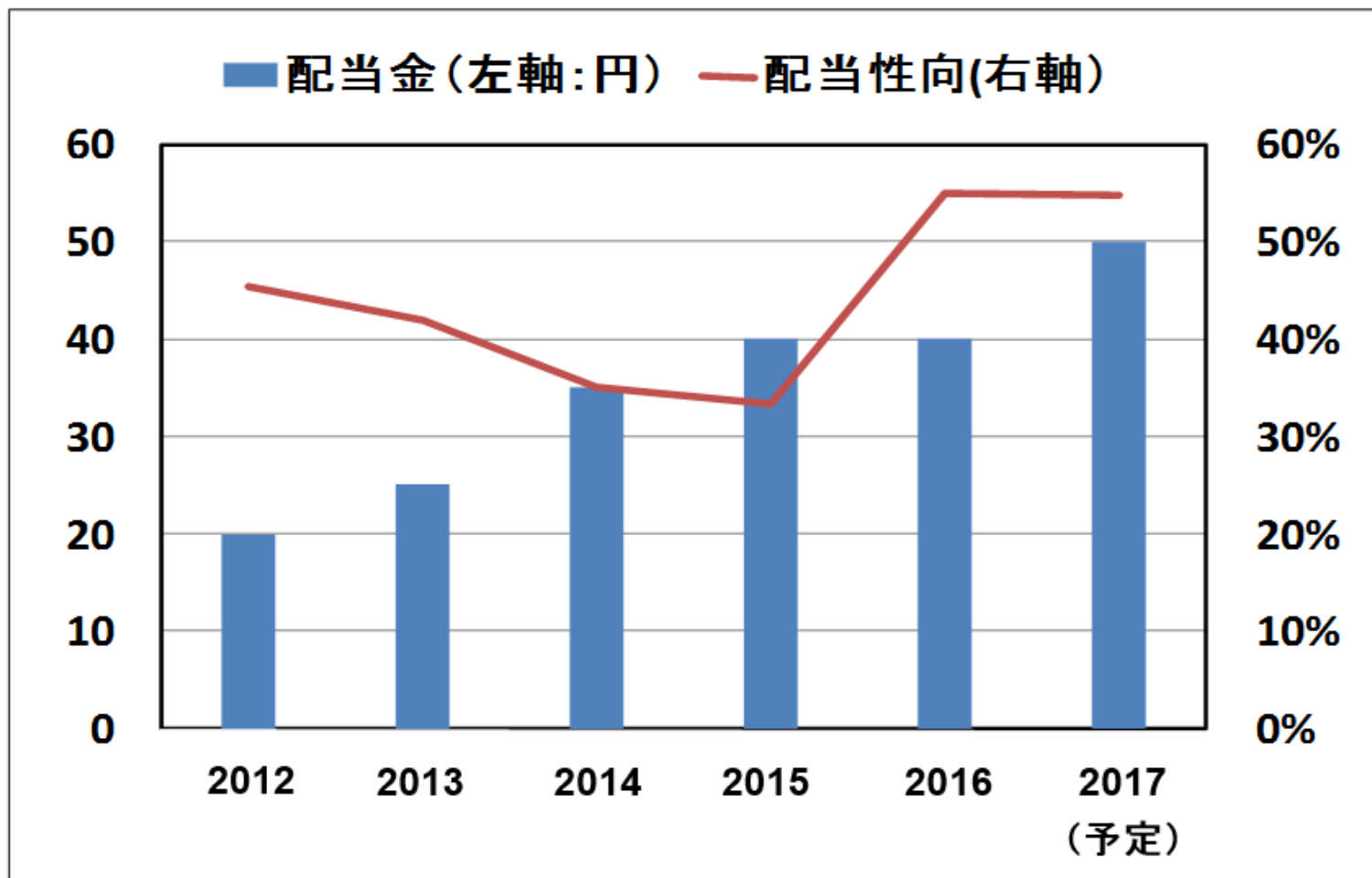
単位: 億円 ⁵

		連結	'16/通期 実績	'17/1-3Q 実績	'17/4Q 計画	'17/通期 計画	前年比
売上高	コンシューマ		2,728	1,974	1,046	3,020	111%
	システム		397	283	107	390	98%
	その他		87	57	33	90	104%
	合計		3,212	2,315	1,185	3,500	109%

営業利益	コンシューマ		372	259	146	405	109%
	システム		▲22	2	▲7	▲5	-
	その他		3	5	▲5	0	-
	調整額		▲47	▲48	▲12	▲60	-
	合計		306	217	123	340	111%

配当方針

- ・安定配当をベースに業績とのバランスを考慮
- ・当期末に60周年記念配(+10円)を予定



開発と営業政策で3年後事業を倍増

■商品戦略

- ・新モジュールを開発
- ・G-SHOCK含む全時計モデルの商品ラインアップ拡充
6ブランド(G-SHOCK, BABY-G, OCEANUS, EDIFICE, PRO TREK, SHEEN)の拡大
1ブランドの新規ジャンル開発
- ・高価格帯3WAYモデル(GPS+電波+スマートフォンリンク)の本格的拡大
- ・中価格帯G-STEEL及びEDIFICEのラインアップ拡大(スマートフォンリンク、カーボン素材等)
- ・G-SHOCKのGPSナビゲーション+ハイブリッド充電の新製品(RANGEMAN)
⇒Best of CES 2018 ファイナリストに選定
- ・PRO TREK Smartは差別化戦略『腕に地図』により、個人向け以外にも
大口法人の開拓も進行(大手スマートフォンメーカーからシェアを奪う商品力)

G-SHOCK
35周年モデル



G-SHOCK (G-STEEL)
カーボンベゼル

■営業戦略

- ・G-SHOCK 35周年記念イベントにおけるグローバル商談会を通じ
他ブランド品目の認知度向上
⇒世界20カ国で展開(ニューヨーク、シドニー、上海で開催済み)
- ・ネット流通の強化による拡大



RANGEMAN

【GAKUHAN(関数電卓・電子辞書)】

- カラーグラフ関数を先進国中心に拡大
- 偽物対策の大幅強化
- 重点国のさらなる拡大
- 表示性能、処理能力、メモリー容量等の進化



【社会人向け電子辞書/英会話学習ツール】

- 最新の「広辞苑 第七版」を収録した新製品投入
- 英会話学習ツールの新製品を投入
- 非店舗流通開拓によるBtoBの拡大



→ 通信教育業者、英語対応能力検定協賛会社等

【楽器】

■ 自社生産体制の強化による
安定的製品供給力とコスト体質の改善

■ キーボードの事業強化

- ・ ネット流通向け大増強
販促動画をSNSで全世界に拡散
- ・ ラインアップ効率化の為に
既存モデル半減による収益力強化
- ・ 多彩な新音源の開発
⇒ 新製品AiX音源搭載キーボードのブランド確立
(米国NAMMショーでの発表による認知度拡大)



2.5Dプリントシステム

10

■世界初の『電磁波造形技術』で新規事業の創造

- ・独自のデジタルシートに世界初の『電磁波造形技術』により立体的触感と多彩な素材感(布・皮・石など)を実現

■自動車、建材、アパレル、計測器、医療機器、家電製品等幅広い内外企業からの引き合い急増

サンプル革命

- ①車の内装、外壁・タイル、カタログ等
- ②耐久性の高い『メンブレン構造デザイン』の実現
⇒ 面状にあるスイッチ群を金型なしで作成

■発売時期

- ・2月26日

為替影響について

<ご参考①>

為替感応度 (主要通貨)

米ドル
ユーロ
人民元

為替前提
(2018年1月～
2018年3月)

113円
128円
16.3円

1円変動による影響額(年間)

売上高	営業利益
10億円	— (※1)
3.5億円	2.5億円
18億円	12億円

※1 ドル円は輸出・輸入がほぼ均衡しており影響軽微

為替レート実績 (前年差)

米ドル
ユーロ
人民元

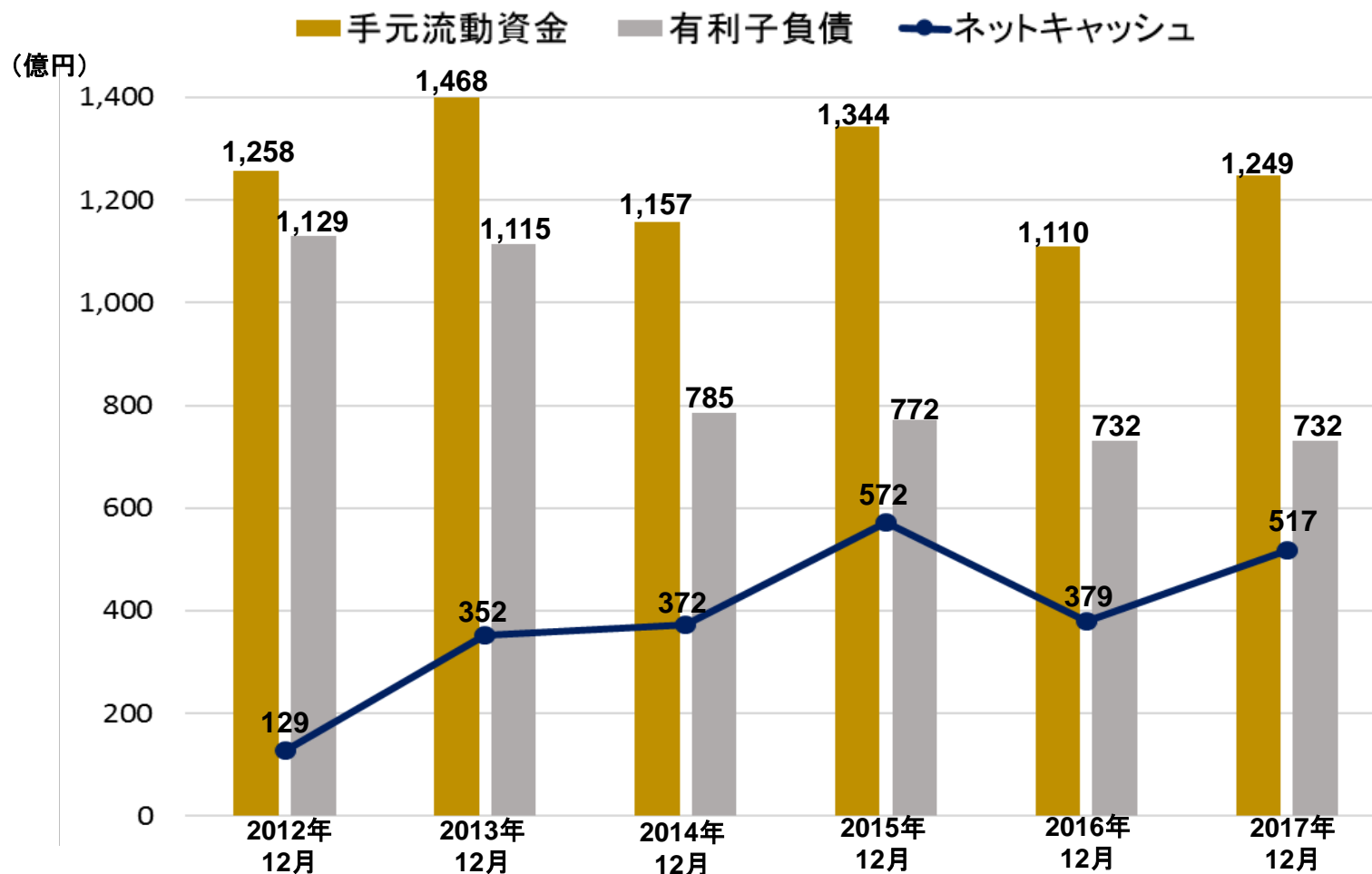
上期

111.1円 (+5.8円)
126.3円 (+8.1円)
16.4円 (+0.5円)

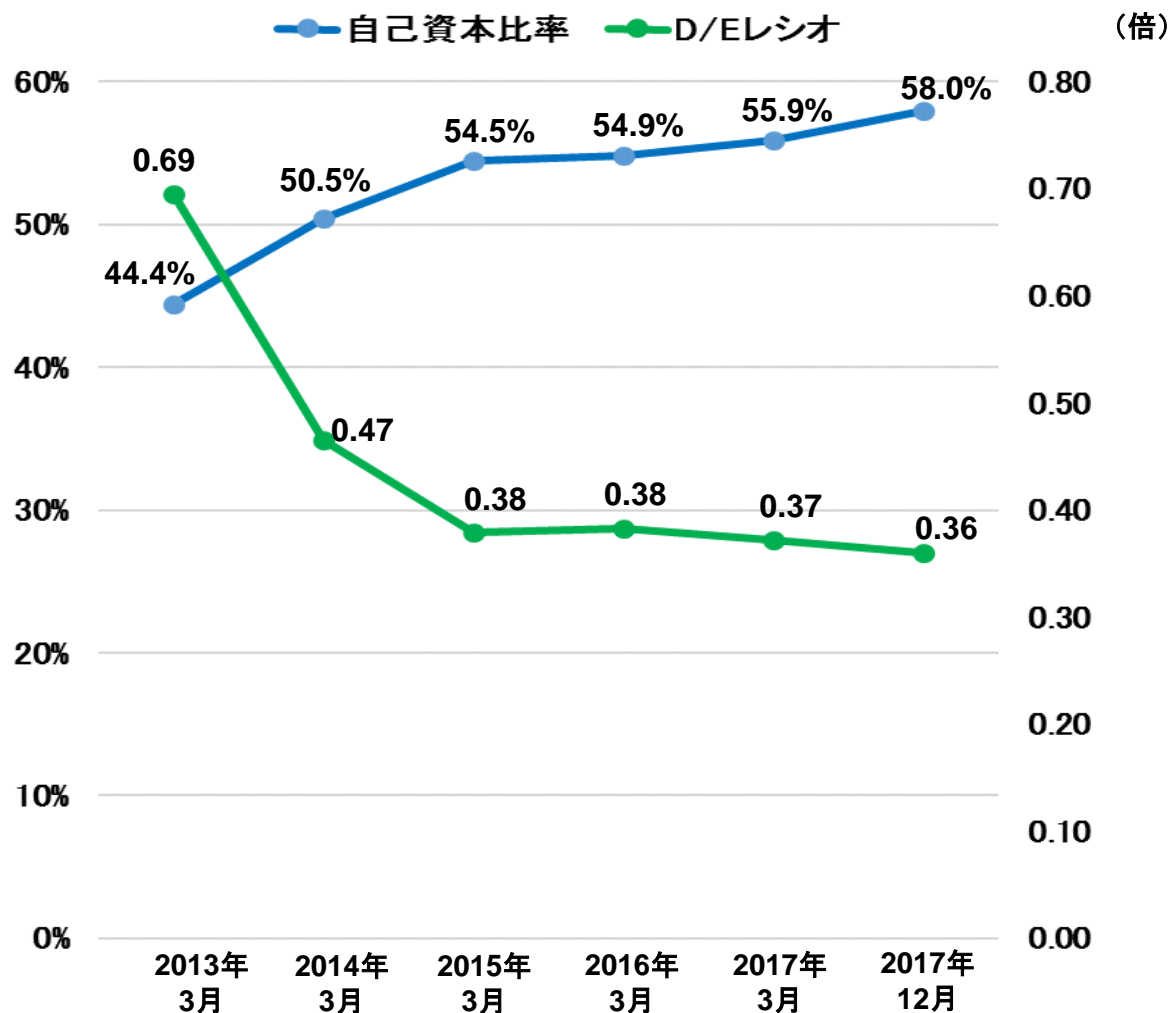
第3四半期

113.0円 (+3.7円)
133.0円 (+15.2円)
17.1円 (+1.1円)

■手元流動資金・有利子負債・ネットキャッシュ(第3四半期対比)



■自己資本比率・D/Eレシオ



END